

## 令和4年度変更事業計画

対米輸出牛肉血斑低減フォローアップ推進事業（JRA事業）（R4～6年度）

令和2年度に血斑低減のための牛のと畜解体技術改善マニュアルを作成したにもかかわらず懸垂方式での放血を行う対米輸出施設においては依然として血斑が発生し、枝肉全体の品質低下と経済的損失が大きな問題となっており、この改善が進まなければ牛肉の輸出拡大に支障をきたす恐れがあることから、更なる血斑発生率を低減するため、施設間での血斑低減の取り組みの知見の交換の場を設置するとともに、牛に心拍計を装着しストレスと血斑発生の因果関係の調査分析等を行い、牛肉の輸出拡大に資する。